

水俣病情報センター展示場 全面リニューアル

令和6年3月に常設展示場をリニューアルしました。よりわかりやすい展示とするため、サインージの導入や実物展示の充実を図りました。また8月には「水銀Q&A」コーナーを一新。操作性を向上させ、クイズも楽しめるようになりました。「未来へのメッセージ」コーナーでは、5か月間で300を超すメッセージを投函いただきました。



水俣病行政担当
種谷さん
や原因考
を行い
水俣病
医学部
働きが、
に大
にめら
れら
れら

国水研の動き

令和6年2月
～令和6年7月

- 2/20 水俣環境アカデミアさくらサイエンス
プラン水俣研修受入れ
- 2/29 長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス
研究科研修受入れ
- 3/18 熊本保健科学大学視察受入れ
- 3/18 海外行政担当者研修受入れ
- 4/5 国保水俣市立総合医療センター
新人研修受入れ
- 4/30 新潟県及び新潟市施設見学受入れ
- 5/1 令和6年度水俣病犠牲者慰霊式
- 5/26 第69回恋龍祭市民パレード参加
- 5/28 熊本県保健環境科学研究所
メチル水銀の分析に係る研修受入れ
- 6/21 八代保健所総水銀分析に係る
研修受入れ
- 7/21 NIMDフォーラム2024開催
- 7/22-26 第16回国際水銀会議参画
- 7/27 一般公開(オープンラボ)
- 7/28 第49回みなまた競り舟大会参加

国立水俣病総合研究センター (NIMD)のロゴマークについて

みなもとの、水。人と、ともにあるもの。空と、緑と、海。その源となる、輝く水。母から子へと受け継がれる生命。自然に照らされ、その生命は輝きます。水俣病の被害にあわれた方々。海とともに生きる生命、自然環境。そして深刻な影響を受けた地域社会。同じ過ちを二度と起こさないと誓い、自然とともに人々が豊かに生きるために、私たちができることを全力で追及する。その思いを中心に、未来へ向けてすべての方向を照らします。国立水俣病総合研究センターの使命をシンボルマークに込めました。



NIMD National Institute for Minamata Disease

国水研への アクセス



- みなくるバス
青バス湯の見線 とんとん峠下車 700m(徒歩約12分)
- JR 新水俣駅から5.5km
- 肥薩おれんじ鉄道 水俣駅から4.6km

facebookでも
情報発信して
います!



NIMD PLUS+YOU

環境省 国立水俣病総合研究センター 広報誌 ニムド プラス ユー

研究室の紹介

基礎研究部
毒性病態研究室
環境・保健研究部
環境化学研究室

トピックス

一般公開(オープンラボ)
を開催
恋龍祭初参加
第49回みなまた
競り舟大会参加



はじめに

国立水俣病総合研究センターの広報誌である、

「NIMD+YOU」を手にとっていただきありがとうございます。

今号では、当センターのロゴ変更に関するお知らせと、

新所長および異動にて着任した職員の紹介をします。そして、毒性病態研究室と環境化学研究室の日々の取組や成果についても紹介します。

また、NIMDトピックスでは、水俣市のイベントである恋龍祭と競り舟への参加、および一般公開開催の様子について掲載しています。

今後も皆様のご意見などをお伺いしながら内容を充実させ、

情報発信を行っていききたいと思います。

引き続き、ご支援をよろしく申し上げます。

NIMD
PLUS
+YOU

国立水俣病総合研究センターのロゴが新しくなりました！

新しくなったロゴとともに、

これからも国立水俣病総合研究センターをよろしくお願いいたします。

みなもの、水。

人と、ともにあるもの。

空と、緑と、海。

その源となる、輝く水。

母から子へと受け継がれる生命。

自然に照らされ、その生命は輝きます。

水俣病の被害にあわれた方々。

海とともに生きる生命、自然環境。

そして深刻な影響を受けた地域社会。

同じ過ちを二度と起こさないと誓い、

自然とともに人々が豊かに生きるために、

私たちができることを全力で追及する。

その思いを中心に、

未来へ向けてすべての方向を照らします。

国立水俣病総合研究センターの使命を

シンボルマークに込めました。



国立水俣病総合研究センター 所長就任挨拶

所長 伯野 春彦



令和6年7月5日付で、国立水俣病総合研究センターの所長に就任しました伯野春彦です。

出身は神奈川県で、慶應義塾大学医学部を卒業後、臨床医としていくつかの病院での勤務経験があります。厚生労働省に入省後は、感染症対策・疾病対策・医療政策等を担当しており、また、広島県庁・岡山県庁にも出向し、地域保健・地域医療提供体制の推進に取り組んだ経験があります。前職では、災害対策も担当しており、能登半島地震への対応を行ってまいりました。

前述したように、広島県庁・岡山県庁に出向の経験がありますが、その際、釣りの魅力にはまり、現在でも釣りが趣味となっています。八代海を見ると、穏やかな海に心が洗われるような気持ちになるとともに、八代海での釣りに思いを巡らせております。

国立水俣病総合研究センターは、水俣病に関する研究の推進拠点として設置され、研究のみならず、水俣病に関する情報収集・発信、研修を実施するとともに、WHO共同研究センターとして国際的に水銀研究を進めております。

研究者や職員からの意見を伺いながら、業務を推進していきたいと考えておりますので、引き続きのご支援・ご協力をいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

新入職員紹介

国際・総合研究部 国際・情報室 情報係 富澤 勇仁

令和6年5月1日より、国立水俣病総合研究センター国際・総合研究部 国際・情報室 情報係に着任致しました、富澤勇仁と申します。環境省に入省して2年目になります。5月1日以前は、東京の本省に勤務しておりましたが、水俣市に来てからというもの、海と山の大自然に囲まれながらの生活になり、とても心穏やかに過ごしております。私自身が海無し県の群馬の田舎出身ですので、自然が周りにたくさんあるととても落ち着きますし、海を見ると無条件にワクワクします。熊本の暑さに負けず、頑張ります！





国水研の研究室

N I M D L a b o r a t o r y



基礎研究部

毒性病態研究室

研究室の取り組み・目的

小中学生や高校生を対象として、「出前授業」を行っています。授業の内容は、水銀や理科に関するお話など、生徒さんたちの年齢やニーズに合わせて内容や時間を構成しています。また、水俣病に関する貴重な病理組織標本を永久保存するためのデジタル化も行っています。環境問題を学ぶ学生さんや研究者のために教材としてインターネットで公開し、水俣病の病理学の理解を深めることを目指しています。

研究内容

小中学生への出前授業

小中学生に水銀や科学に関する出前授業を行っています。水銀が含まれている鉱石、動物の骨や牙などの「ホンモノ」を見て・触って・感じてもらうことが大切だと考えています。また、水俣市内の小中学生を対象とした職業体験、「水俣」習字・絵画コンクールを主催しています。



ヒグマの頭骨の解説中



「水俣」習字・絵画コンクール表彰式

高校生への出前授業

水俣高校やその他の高校の生徒さんの総合的な探求の時間の指導を行っています。昨年度指導した生徒さんが神戸大学で行われた環境科学会2023年会で発表し、学部学生・高専生・高校生の部の最優秀発表賞に選出されました。今後も地元の生徒さんたちのお役に立てるように尽力していきます。



最優秀発表賞に選出された生徒さん



環境・保健研究部

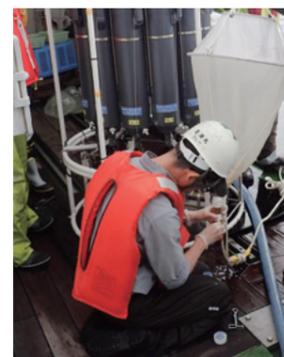
環境化学研究室

研究室の取り組み・目的

海洋環境中では微生物の作用によって水銀がメチル水銀に変化し、このメチル水銀がプランクトンに取り込まれることによって海洋生態系における生物濃縮が始まると考えられています。私の研究チームでは、メチル水銀の生成・分解に関わる微生物についての研究や魚の餌となるプランクトンによるメチル水銀の取込み過程を明らかにすることで、海洋生態系におけるメチル水銀の生物濃縮過程を明らかにすることを目指しています。

研究内容

メチル水銀の生成・分解に関わる海洋微生物の研究



海洋観測の様子



遺伝子実験の様子

研究船に乗船し、様々な海域・深度から採取してきた微生物DNAを解析することで、どのような微生物がメチル水銀を生成・分解しているのかを推定することができます。これにより、自然の作用によるメチル水銀の生成・分解を評価することができます。

プランクトン中のメチル水銀分析

水俣湾をはじめ、瀬戸内海、遠くは太平洋の赤道域まで、さまざまな海でプランクトンを採取し、これらの生物群に含まれるメチル水銀を分析しています。新たな発見でワクワクすることもあります。この研究が魚介類へのメチル水銀濃縮過程解明の一助となればと思いつつ、日々研究しています。

プランクトンの培養



令和6年度
国立水俣病総合研究センター

一般公開 オープンラボ 開催

これを
こうすると何と!



今日は
天気が良いので
八代海がキレイに
見られますよ。



どこから
来られました?



わっしょい
わっしょい

ワッショイ
わっしょい



れん りゅう さい

恋龍祭初参加

5月26日に開催された恋龍祭に国立水俣病総合研究センターも参加いたしました。パレードで担ぐ御神輿はなんと全て職員の手作りです。お昼休みや業務後の時間を利用して職員一同で頑張って作りました。当日は水俣市民の皆様とともにエコパークを練り歩き、大いに盛り上がりました。今から来年の参加が楽しみです。



自作の御神輿とともに記念撮影

せ ふね

第49回みなまた競り舟大会参加

7月28日に開催された、みなまた競り舟大会に「チーム国水研」も参加しました。今年はユニフォームを一新し、心機一転。メンバー一同、心と力を一つに全力で夏の水俣川を漕ぎきりました!



力を
合わせて!



レースを終え晴れ晴れとした顔のチーム国水研

7月27日に毎年恒例の一般公開(オープンラボ)が開催されました。

当日は晴天に恵まれたものの、最高気温35°Cの猛暑日となりましたが、水俣市、出水市を中心に、北は東京から南は鹿児島市まで、330名を超える多くの方々が登場し、11の企画を楽しんでくださいました。帰り際のアンケートにも回答くださり、「楽しかった」「来年も来たい」という好評の声を多く頂きました。一方、「館内が暑かった」「パンが買えなかった」「レジがしたかった」というお声もありましたので、来年への改善点として、来年も多くの方々に楽しんでもらえるように職員一同取り組んでまいりたいと思います。



プチ採水器作りに挑戦中!